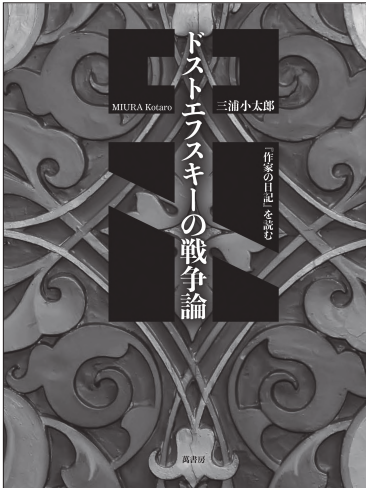


ドストエフスキーの戦争論

『作家の日記』を読む



三浦小太郎 (みうら・こたろう) 著

1960 (昭和 35) 年東京生まれ。現在、アジア自由民主連帯協議会事務局。北朝鮮やアジア諸民族の問題に取り組むとともに、「正論」「Hanada」「月刊日本」などに執筆。

主な著書に『嘘の人権 偽の平和』(高木書房、2010年)、『渡辺京二』(言視舎、2016年)、『なぜ秀吉はバテレンを追放したのか』(ハート出版、2019年)など。

目次

- 第一章 ドストエフスキー対トルストイ
- 第二章 民衆への同情が『悪霊』を導く
- 第三章 ドストエフスキーとロシア民衆
- 第四章 ドストエフスキーの見たロシアの近代
- 第五章 近代を乗り越えてゆくロシア
- 第六章 ドストエフスキーの戦争論
- 第七章 コンスタンチノープル領有論と反ユダヤ主義
- 第八章 スラブ主義の思想家
- 第九章 ドン・キホーテとジョルジュ・サンド
- 第十章 プーシキン記念講演と世界の調和

露土戦争聖戦論、コンスタンチノープル領有宣言、ユダヤ・カトリック陰謀論、平和主義批判……。これまで黙過されてきた最晩年の労作『作家の日記』から、一筋縄でいかない文豪の知られざる実像に迫る。

ドストエフスキーはなぜ戦争を賛美したのか?!

ご注文申込書	貴店名・帖合	注文数	萬書房 TEL 045-431-4423 FAX 045-633-4252
		冊	ドストエフスキーの戦争論 三浦小太郎著 四六判並製 272頁 定価 (本体 2100円+税)
			ISBN978-4-907961-15-2 C0095

ご注文は JRC へ FAX 03-3294-2177 TEL 03-5283-2230

すべての取次へへの出荷が可能です。返品は長期にお受けいたします。(了解者 JRC 後藤)